

「環境・福祉・文化のサステナビリティと ハワイアンスタディーズ」

担当教員 西城戸誠 佐伯英子

コース概要

日程 2019年9月2日～11日

場所 米国ハワイ州（オアフ島、ハワイ島）

参加人数 10名

コースのねらい

ハワイは日本人にとって最も身近な外国です。しかし、このフィールドスタディでは「観光では絶対にわからないハワイ」を体感します。オアフ島とハワイ島を舞台に、環境・福祉・文化のサステナビリティとそこに通底するハワイアンスタディーズとの関連を学び、多角的にハワイ社会を理解し、そこから逆照射される現在の日本や「私」を考えます。

内容

1日目(9/2) オアフ島・ホノルルに到着後、オアフ島北部のワイメア溪谷に行き、ハワイ古代の土地所有制度であるアププアアの内容や、ハワイの人々の自然の学び方を通して、ハワイの生態系保全とハワイ文化との関係について、自然科学だけが「科学」ではない文化と融合した科学観を学びました。

2日目(9/3) ハワイ大学マノア校で、タロイモ畑での農作業を通じて、タロイモ栽培とハワイ文化の関連について学習しました。また、ハワイ大学イーストウェストセンターの見学と、環境リーダーシップ教育の講義を受け、3つの Thinking (Logical, Critical, Design) の考え方を学びました。

3日目(9/4) 午前中はCamp Palehua で元牧場の場所では在来種を植樹する活動を見学しました。Palehuaからはコオリナ・リゾートを見ることができ、同じアププアアの上流と下流で正反対の活動が行われていることに、ハワイ文化と開発の共存共栄の難しさも見て取れます。次に Kookia Kakihi Valley では、多様な移民が居住し、貧困家庭が相対的に多い地区での福祉、医療活動の現場について学びました。最後にハワイ浄土宗本院を訪問し、ハワイと日本の仏教との関係について学びました。

4日目(9/5) 午前中はワイキキにおける観光の実態を視察した後、1970年代のハワイアンルネッサンス（文芸復興）の動きの象徴となるホクレア号についての説明をポリネシア航海協会の方から受け、またホクレア号の乗船とその後ワークショップを実施しました。



ワイメア溪谷でのレクチャー



タロイモ畑を前にして学習



在来種の植林について学ぶ



ホクレア号に関する講義

5日目 (9/6) オアフ島からハワイ島に移動した後、イミロア天文台を訪問しました。プラネタニウム、球状のプロジェクターなど最先端の技術を使った説明によって、ホクレア号の航海術で不可欠な星座の話や、ハワイの火山の歴史と神話を学びました。

6日目 (9/7) **Hawaiian Crown Plantation** を訪問しました。まずはバナナとカカオの農園を訪問し、カカオ豆の生産工程、チョコレート工場の見学を行い、ハワイ島における農業の六次産業化の最先端の動向を学ぶことができました。また、ファーマーズマーケットの見学、**Hawaiian Crown Plantation** のガイドをくださった農家の方の個人の農園も訪問し、ハワイの農業について理解を深めました。

7日目 (9/8) 2018年5月にキラウエア火山が噴火しましたが、噴火被災地の一つ **Pahoa** 地区を訪問し、大地が生まれる場所の最前線を体感しました。その後、ハワイ文化センターを訪問しハワイ島における日系人の歴史について、ヒロ地区のカメハメハ大王の前で、津波と地域の歴史についての話を伺いました。

8日目 (9/9) キラウエア火山公園のサイレントウォークの後、マウナケアで問題になっている **TMT** に対する抗議の現場を訪問しました。単なる政治対立ではなく、**Kapu Aloha** という **Aloha** の心を持ち、非暴力、平和的解決、祈りと愛をもった、ポジティブなキャンペーンであることが理解できました。

9日目 (9/10) フィールドスタディ最後のプログラムは、ハワイ島在住でフラの講師をされている日本人女性の方に、**Kuleana (responsibility)** に関する講義をしていただきました。「あなたにとってのクレアナは？」という問いかけは、ハワイの自然と文化の関わり、ハワイに住む人々、ハワイ社会の多様性を理解し、そこから逆照射される現在の日本や、自分自身を見つめ直すという、このフィールドスタディの目的に合致したものでした。



イミロア天文台における講義



カカオとバナナ畑での学習



噴火被災地への訪問



Kuleana を学んで

学習を終えて

私はこのハワイフィールドスタディに参加して観光で行くハワイでは感じることのできないハワイアン の価値観を学習することができた。オハナ、つまり家族や地域、さらに何世代も後の"未来"の人々の事を考えて行動することがハワイアンの価値観である。そして、様々な場所を訪問してその価値観の原動力はハワイアンが大切に築きあげてきた文化にあることに気づいた。私はこのフィールドスタディにおいて持続可能な社会を実現するための1つの方法としてそのような価値観、そしてそれに必要な文化が重要であると学んだ。今後この価値を日本でも実践し、多くの人が文化を大切にしていけるように私にできることを考え続けていきたい。(2年 森 裕香)

ハワイ島とオアフ島の2つの島を訪れ、そこに暮らす方々との交流を通し、ハワイと日本の考え方の違いや文化の違いなどを感じることが出来ました。またタロイモ畑での農業体験、伝統技術を駆使したホクレア号への乗船などの貴重な体験の数々をさせていただく中で、ハワイのコミュニティや次世代のことを大切にするという考え方を節々で感じたことが大変印象深かったです。ハワイのどのような思考や文化が、持続的な循環型の社会の構築を成り立たせているのかを学ぶことが出来た10日間でした。これからの学びに役立てたいです。(2年 門田 渚)